

2011年3月期決算説明会

2011/5/17

日本ライフライン株式会社

2011年3月期決算報告 通期業績予想

常務取締役
政次 浩二

公定価が下がる中で増収を維持

- 主力ペースメーカーで12.8%の引き下げ

自社製品の販売が堅調に推移

売上総利益率の低下

- 公定価引き下げの影響による

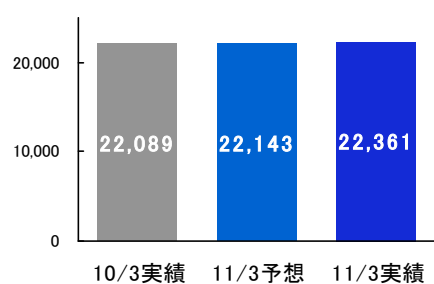
特別利益の計上

- 独占販売契約終了に伴う補償金計上

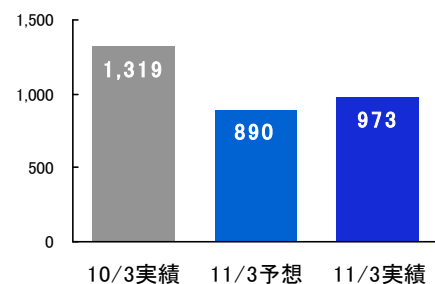
2011年3月期 連結業績

(単位:百万円)	2010/3	2011/3			
	実績	予想	実績	前期比	予想比
売上高	22,089	22,143	22,361	1.2%	1.0%
営業利益	1,319	890	973	△26.2%	9.3%
経常利益	1,423	976	1,082	△24.0%	10.9%
当期純利益	562	641	772	37.4%	20.5%

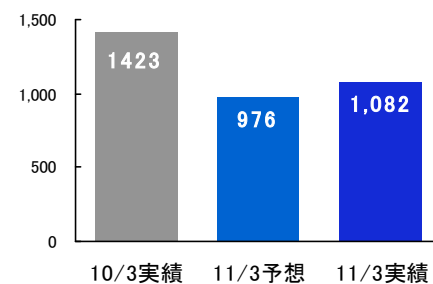
-売上高-



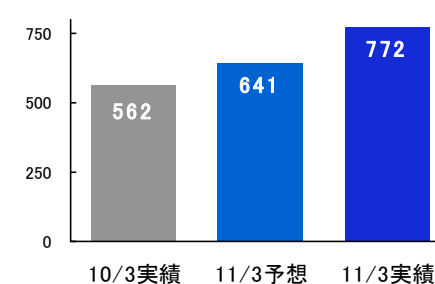
-営業利益-



-経常利益-

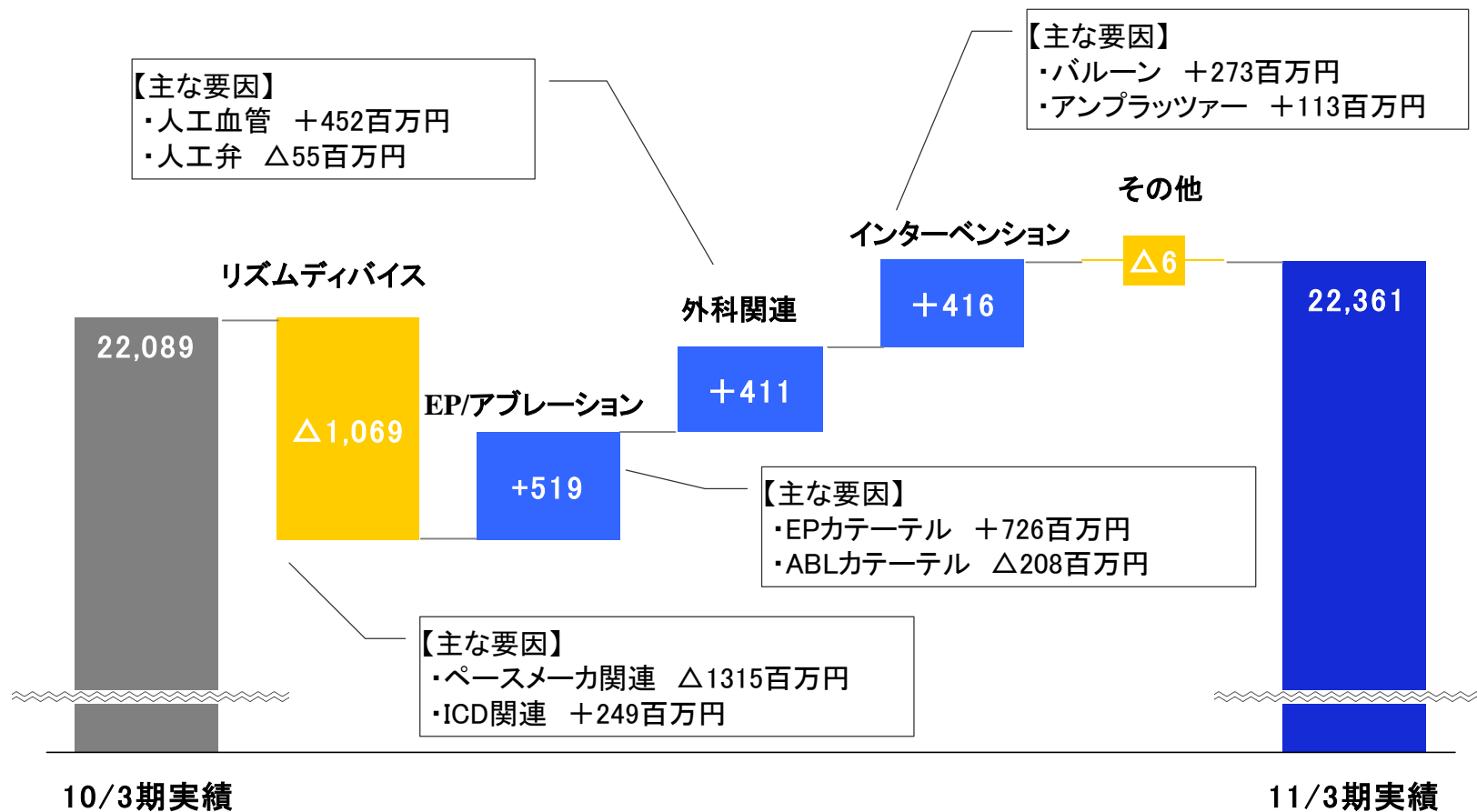


-当期純利益-



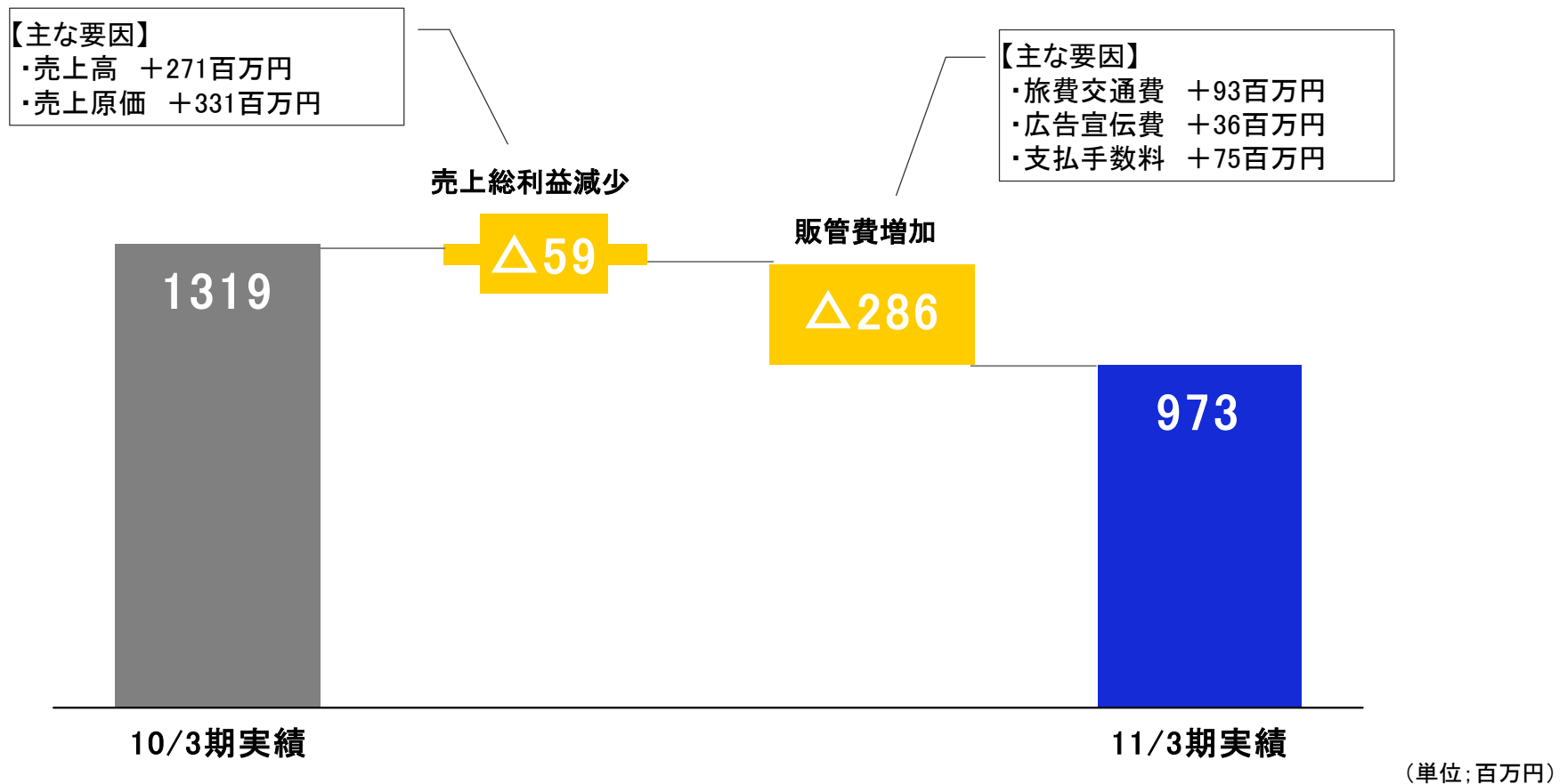
(単位:百万円)

前期比 +271百万円(1.2%増)

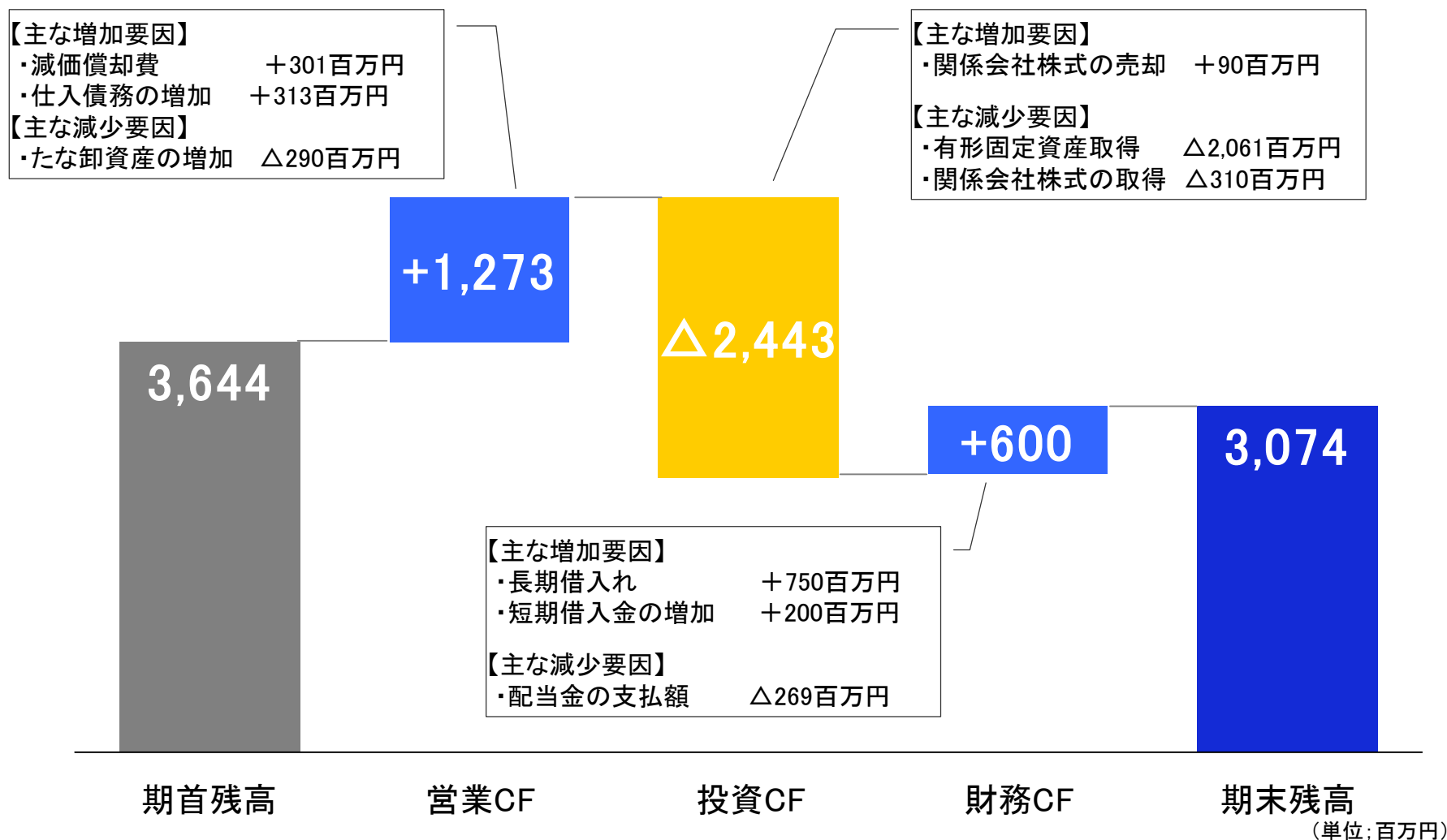


(単位:百万円)

前期比 $\Delta 345$ 百万円(26.2%減)



現金及び現金同等物 $\Delta 569$ 百万円



増収増益を見込む

- 公定価の引き下げなし
- 販売数が伸長する見通し

東日本大震災の影響は限定的

売上総利益率の改善

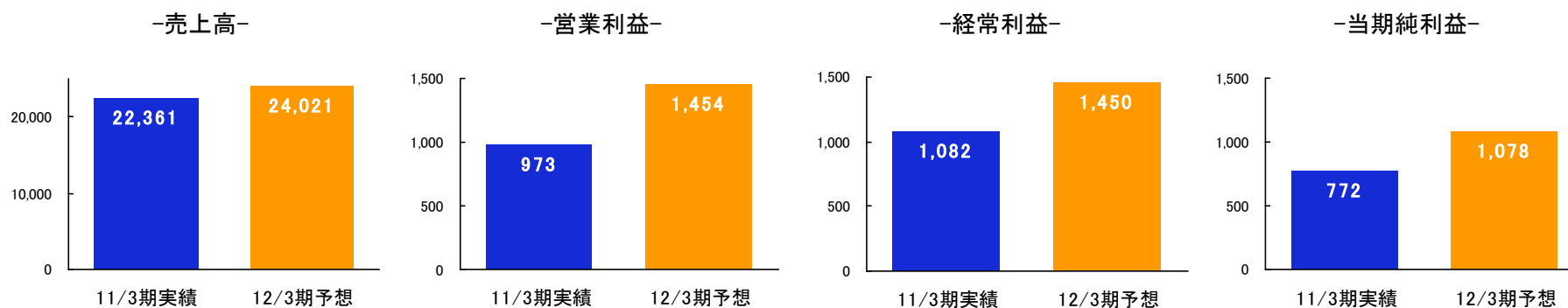
- 既存在庫の払い出し
- 収益性の高い商品へのシフト、自社製品拡充

特別利益の計上

- アンプラッツァービジネスの承継対価

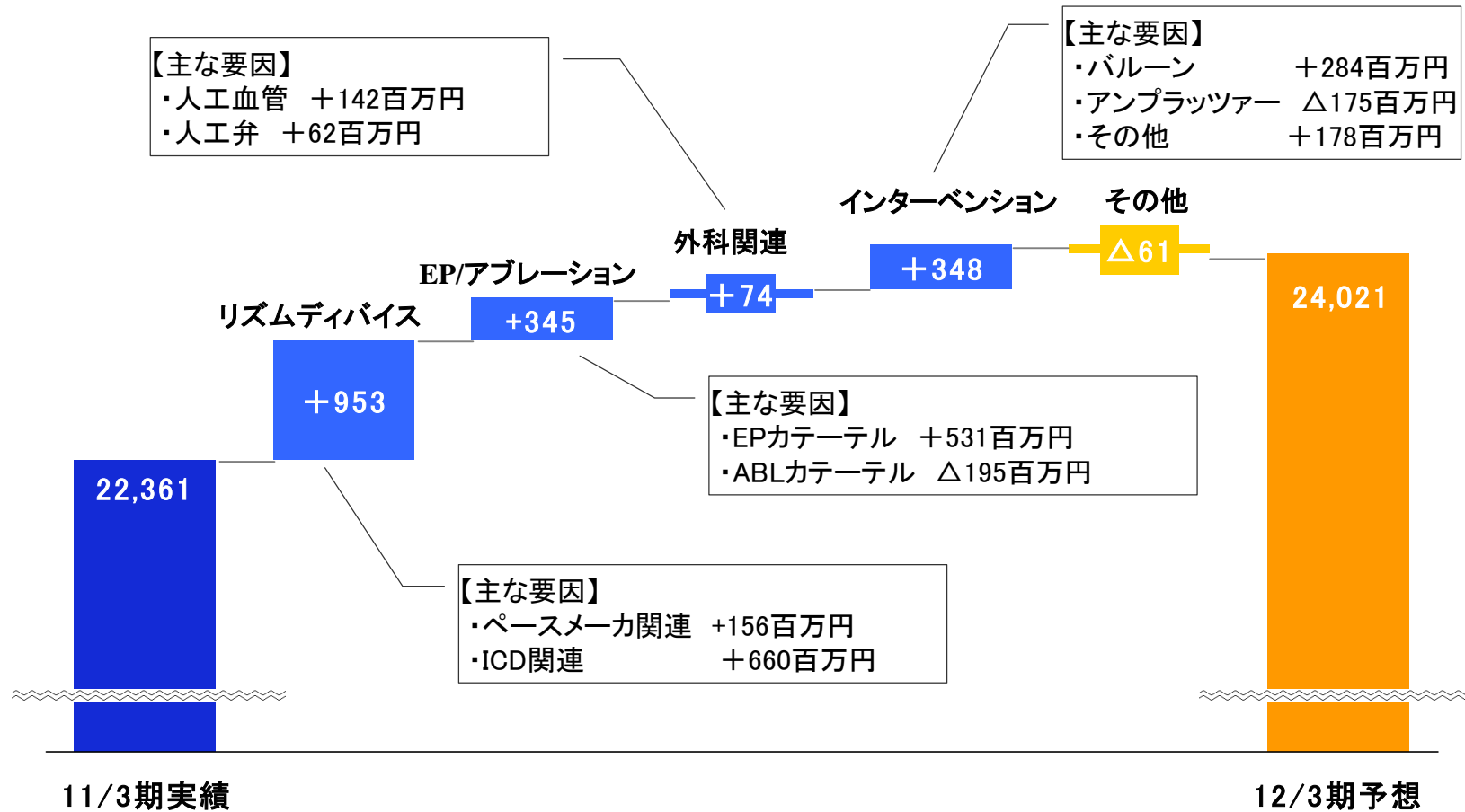
2012年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)	2011/3		2012/3		
	実績	構成比	予想	構成比	増減率
売上高	22,361	100.0%	24,021	100.0%	7.4%
営業利益	973	4.4%	1,454	6.1%	49.4%
経常利益	1,082	4.8%	1,450	6.0%	33.9%
当期純利益	772	3.5%	1,078	4.5%	39.6%



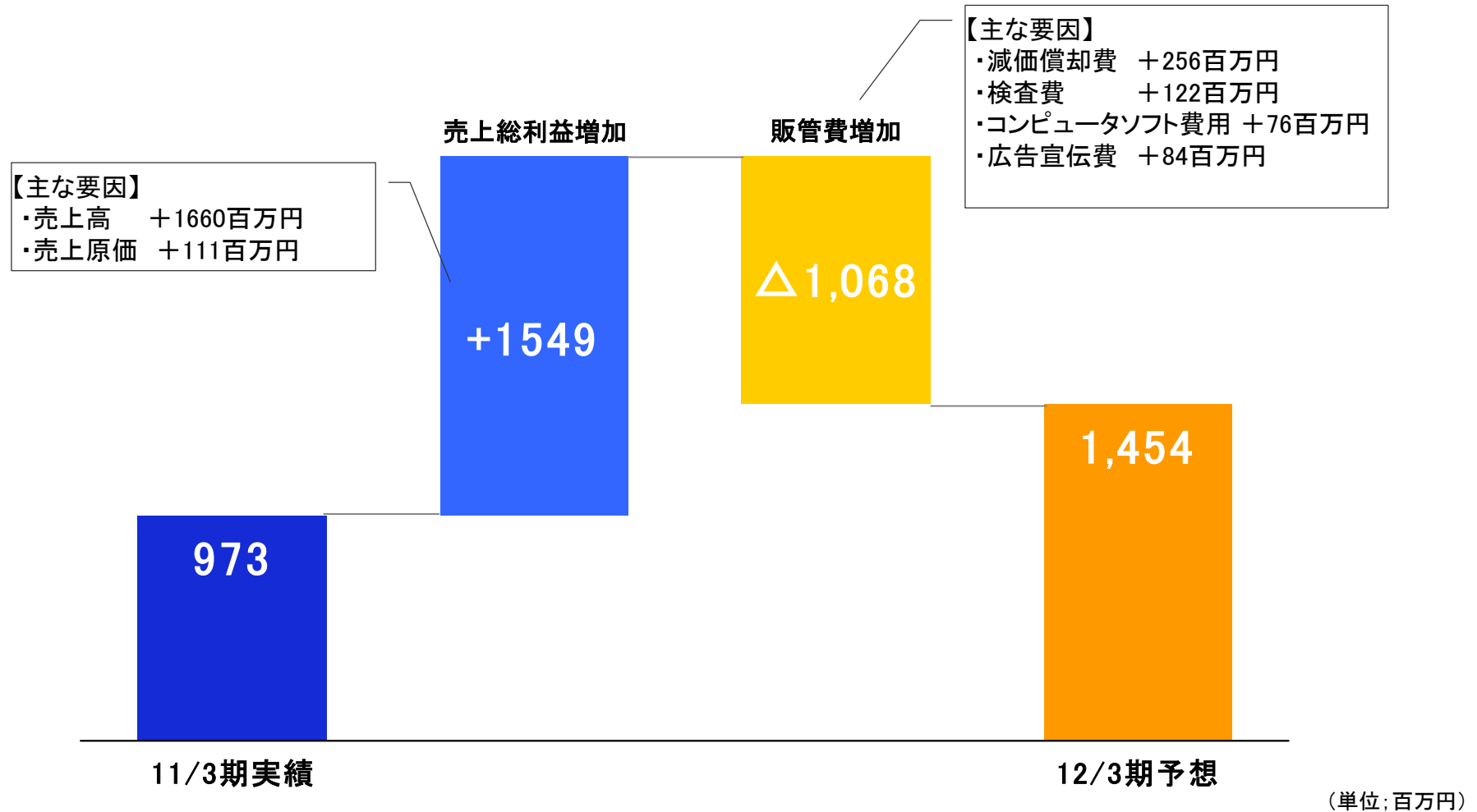
(単位:百万円)

2011年3月期比 +1,660百万円(7.4%増)



(単位:百万円)

2011年3月期比 +481百万円(49.4%増)



(資料)連結要約損益計算書

(単位;百万円)	2010/3期		2011/3期			2012/3期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比
売上高	22,089	100.0	22,361	100.0	1.2	24,021	100.0	7.4
売上原価	11,024	49.9	11,355	50.8	3.0	11,466	47.7	1.0
売上総利益	11,065	50.1	11,006	49.2	-0.5	12,555	52.3	14.1
販管費	9,746	44.1	10,033	44.9	2.9	11,101	46.2	10.6
営業利益	1,319	6.0	973	4.4	-26.2	1,454	6.1	49.4
営業外収益	147	0.7	135	0.6	-8.0	34	0.1	-74.8
営業外費用	42	0.2	26	0.1	-39.1	38	0.2	47.4
経常利益	1,423	6.5	1,082	4.8	-23.9	1,450	6.0	33.9
特別利益	4	0.0	617	2.8	14671.7	496	2.1	-19.5
特別損失	214	1.0	76	0.3	-64.3	41	0.2	-46.3
税前当期利益	1,213	5.5	1,623	7.3	33.8	1,905	7.9	17.4
法人税等	650	3.0	850	3.8	30.8	826	3.4	-2.8
当期純利益	562	2.6	772	3.5	37.3	1,078	4.5	39.6

(資料)品目別 連結売上高

(単位;百万円)	2010/3期		2011/3期			2012/3期		
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比
ペースメーカー関連	10,174	46.1	8,858	39.6	-12.9	9,014	37.5	1.8
I C D 関連	1,351	6.1	1,601	7.2	18.5	2,261	9.4	41.2
その他	75	0.3	71	0.3	-4.6	208	0.9	190.4
リズムデバイス計	11,601	52.5	10,531	47.1	-9.2	11,485	47.8	9.1
EPカテーテル	2,020	9.1	2,747	12.3	35.9	3,278	13.6	19.4
ABLカテーテル	1,986	9.0	1,778	8.0	-10.5	1,582	6.6	-11.0
その他	104	0.5	106	0.5	1.8	116	0.5	9.2
EP / ABL計	4,112	18.6	4,632	20.7	12.6	4,978	20.7	7.5
人工弁	780	3.5	725	3.2	-7.1	787	3.3	8.6
人工肺関連	423	1.9	436	2.0	3.3	306	1.3	-29.9
人工血管	773	3.5	1,226	5.5	58.5	1,368	5.7	11.6
外科関連計	1,976	8.9	2,388	10.7	20.8	2,462	10.2	3.1
バルーン	899	4.1	1,173	5.2	30.4	1,457	6.1	24.3
ガイドワイヤー	485	2.2	484	2.2	-0.3	545	2.3	12.6
アンプラッター	571	2.6	684	3.1	19.9	508	2.1	-25.7
その他	913	4.1	944	4.2	3.4	1,122	4.7	18.9
インターベンション計	2,869	13.0	3,286	14.7	14.5	3,634	15.1	10.6
その他	1,528	6.9	1,522	6.8	-0.4	1,461	6.1	-4.0
合計	22,089	100.0	22,361	100.0	1.2	24,021	100.0	7.4

(補足データ)

(単位:百万円)	2008/3期	2009/3期	2010/3期	2011/3期	2012/3期 予想
設備投資額	305	460	502	2,089	1,700
減価償却費	206	253	279	301	519
研究開発費	225	276	381	372	516
期末従業員数 (名)	(単)419	(単)430	(単)453	(単)479	(単)541
		(連)488	(連)515	(連)546	(連)615

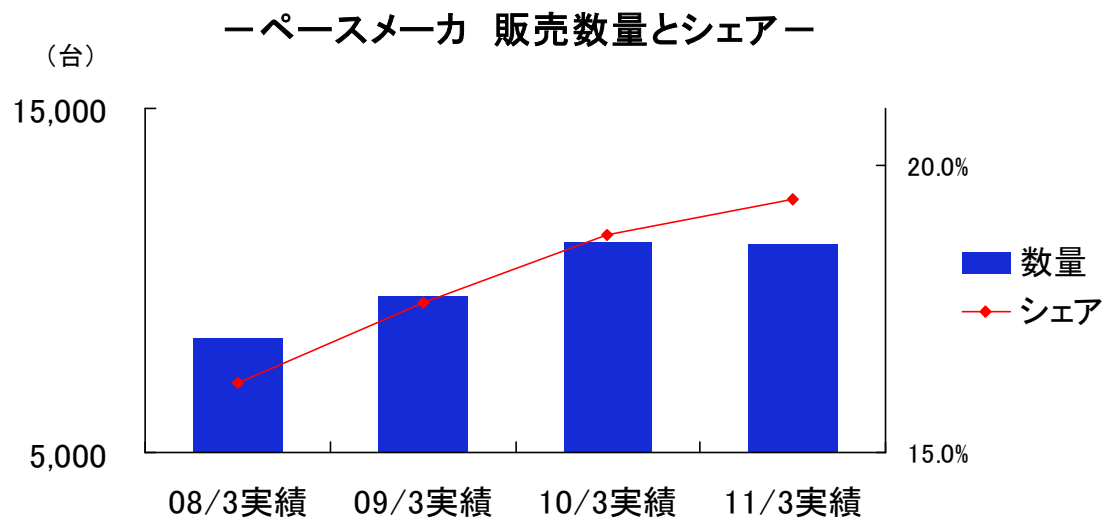
課題と展望

代表取締役社長
鈴木 啓介

ペースメーカー関連

公定価引き下げの影響を受け減収

- '11/3期 売上高 8,858百万円(前期比12.9%減)
- 販売数量は好調だった前年水準を維持
- 前年に比べ'11/3期はマーケット縮小
- 市場シェアは増加傾向が続く

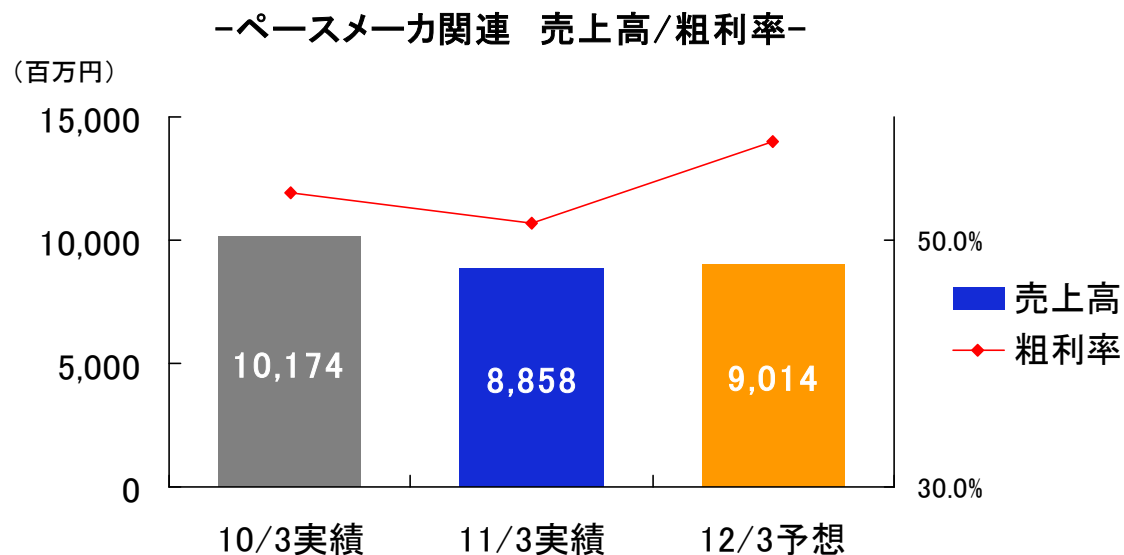


日本不整脈デバイス工業会 資料を基に自社推計

ペースメーカー関連

収益性が向上

- '12/3期(予) 売上高 9,014百万円(前期比1.8%増)
- '07年にソーリンググループへ取引先変更しシェアを獲得
- 自社ブランドのペースメーカーリードへの切替により粗利率の改善を見込む



ペースメーカーリード

J-Lineブランド製品への切替え

- ペースメーカーリード等の自社ブランド(OEM)を昨年5月立ち上げ
- 既にペースメーカーリード4製品を上市
- '12/3期は前期に比べ約5億円の利益改善を見込む

Petite(ペティート)



【ジェイ・ライン】

Screwvine

(スクリーブライン)

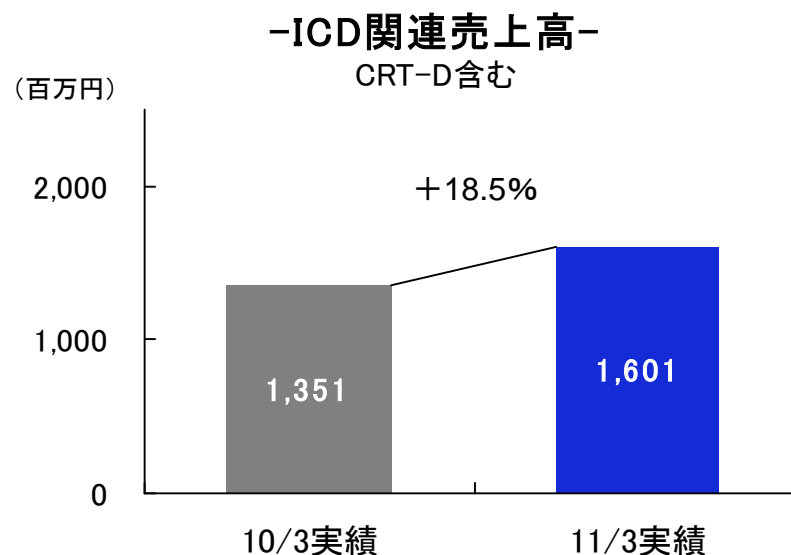
PY2(ピーワイツー)

Physique(フィジーク)

ICD関連(ICD、CRT-D)

ICDの新商品が貢献

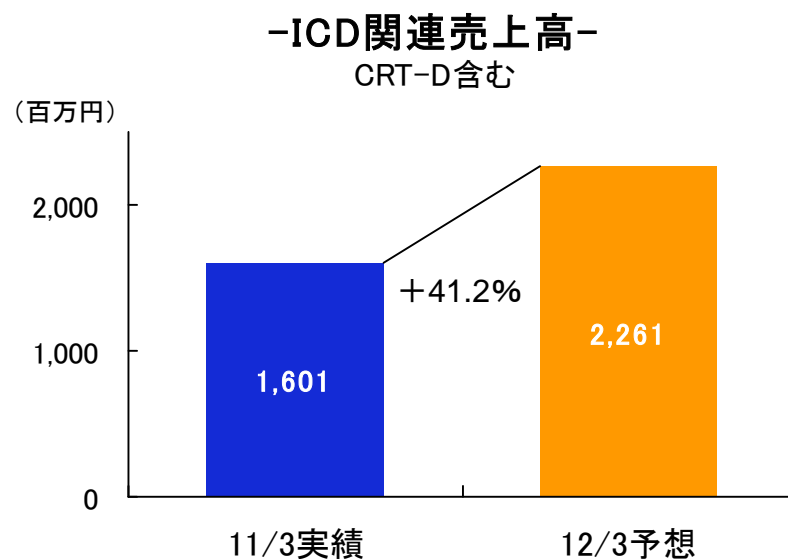
- '11/3期 売上高 1,601百万円(前期比18.5%増)
- 昨年7月発売のICD「PARADYM DR/VR」が伸長
数量ベースでは前期比24.3%の増加



ICD関連(ICD、CRT-D)

'12/3期はCRT-Dを拡販

- '12/3期(予) 売上高 2,261百万円(前期比41.2%増)
- 本年2月発売の新商品「PARADYM CRT-D」を拡販



「PARADYM CRT-D」
保険償還価格 419万円

EPカテーテル・ABLカテーテル

EPカテーテルの伸長

- '11/3期 売上高 2,747百万円(前期比35.9%増)
- 「EPスター・リベロ」などで収益性が高い20極製品が伸長
- 2年連続で30%を超える成長

ABLカテーテルは減少

- '11/3期 売上高 1,778百万円(前期比10.5%減)
- イリゲーション機能を持つ競合製品が増加

中期的な収益源を開拓

EPカテーテルの成長は持続

- '12/3期(予) 売上高 3,278百万円(前期比19.4%増)
- 20極以外の製品でもシェア増加を目指す

中国市場への参入

- '12/3期上期の販売開始を予定

ABLカテーテルは減少の見通し

- '12/3期(予) 売上高 1,582百万円(前期比11.0%減)
- イリゲーションカテーテルの開発に注力

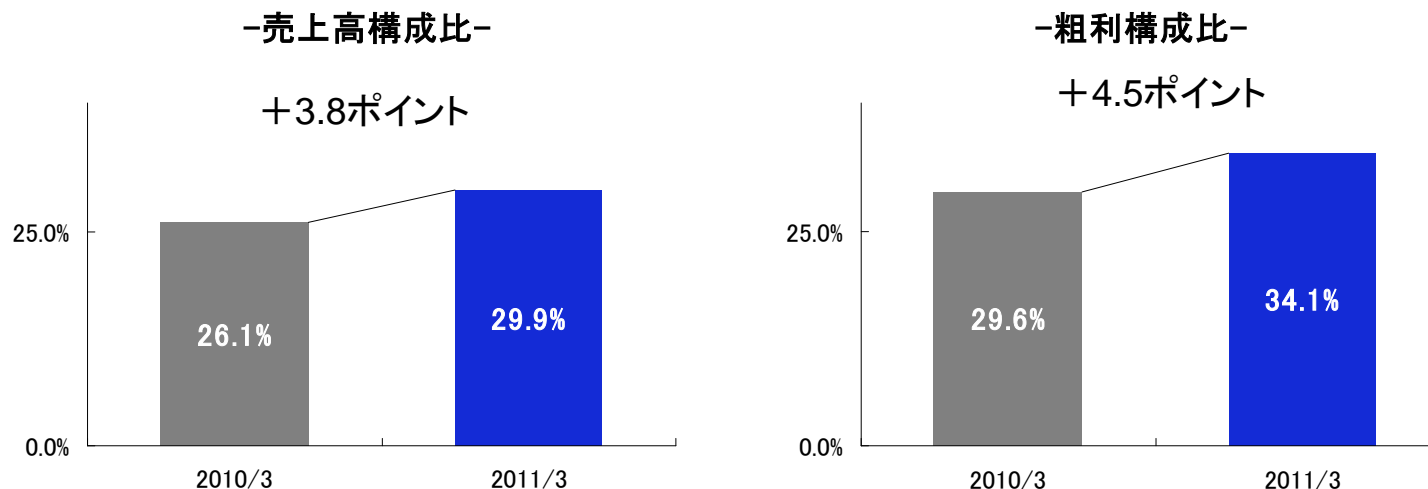
心腔内除細動システムの早期上市

- '12/3期4Q承認を目指す

安定成長の基盤強化

自社製品の拡充

- '11/3期 売上高（単体ベース）
6,173百万円（前期比16.0%増）
- 利益面での寄与も増加

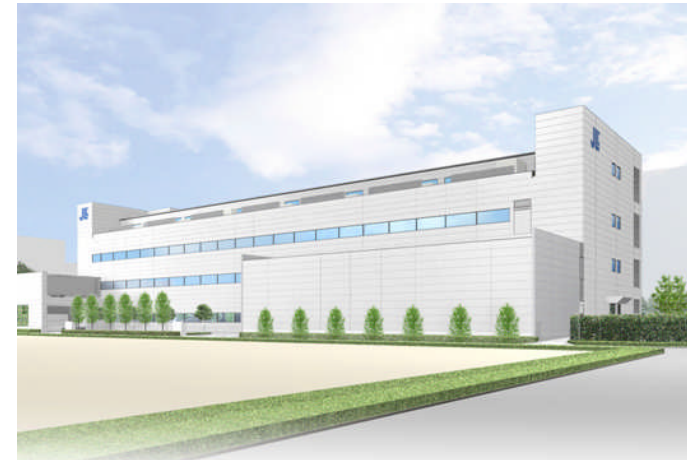


※自社製品にはEPカテーテル、アブレーションカテーテル、ガイドワイヤーに加えて、
子会社製品の人工血管を含めています。

グループ中核拠点の建設

戸田新工場

- 現浮間ファクトリーの研究開発
生産機能に移転・強化



【戸田新工場(メディカル・テクノロジー・パーク)の概要】

- (1)所在地 埼玉県戸田市
- (2)規模 敷地面積: 2903.8㎡ 延床面積: 5802.8㎡
(現浮間工場の3倍、製造エリアは2.5倍)
- (3)稼働開始 2012年3月期4Q予定
- (4)生産能力 現浮間ファクトリーの2倍以上
- (5)取得費用 土地 960百万円 建物設備 1,255百万円 (予定)

人工血管

供給量増加に伴い売上増加

- '11/3期 売上高 1,226百万円(前期比58.5%増)
- 新工場が稼動開始済み(本年2月)
- 安定供給体制により本格的な拡販へ



JUNKEN MEDICAL市原工場



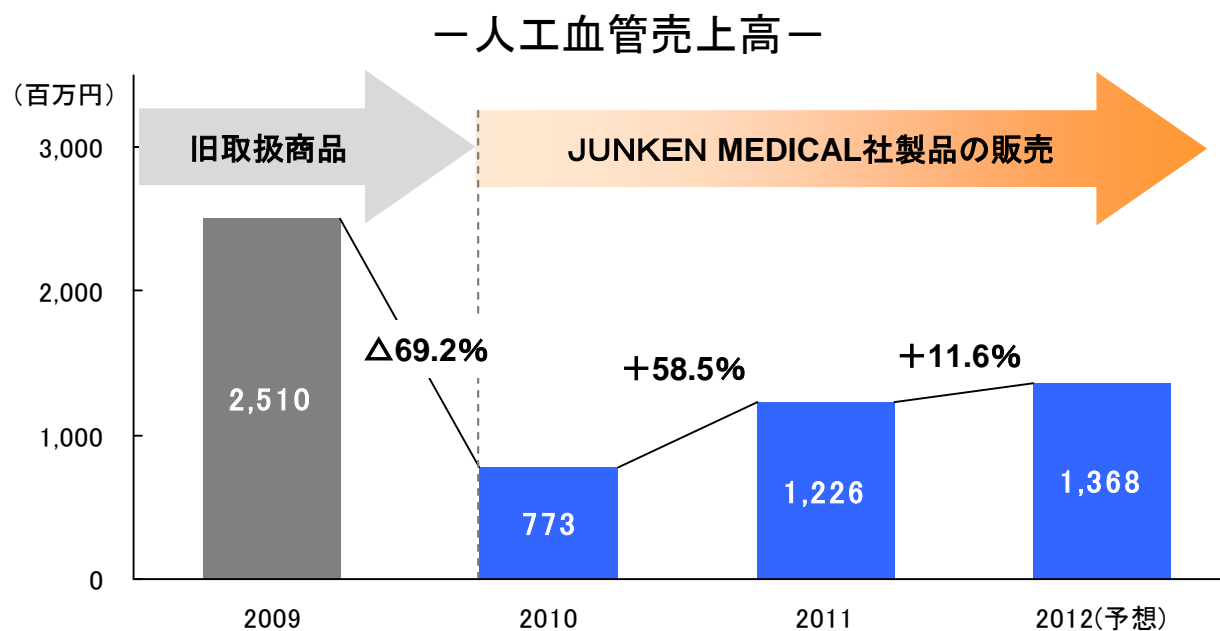
J Graft シールド NEO

JUNKEN MEDICAL社製

人工血管

取扱い商品切替後、順調に成長

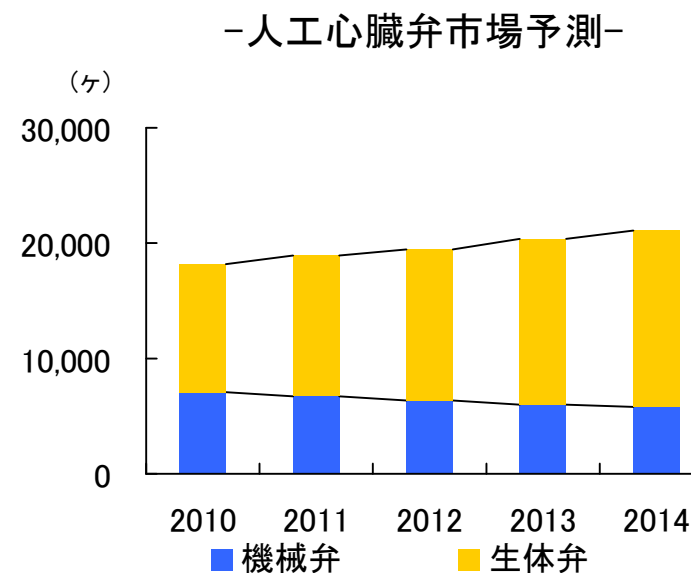
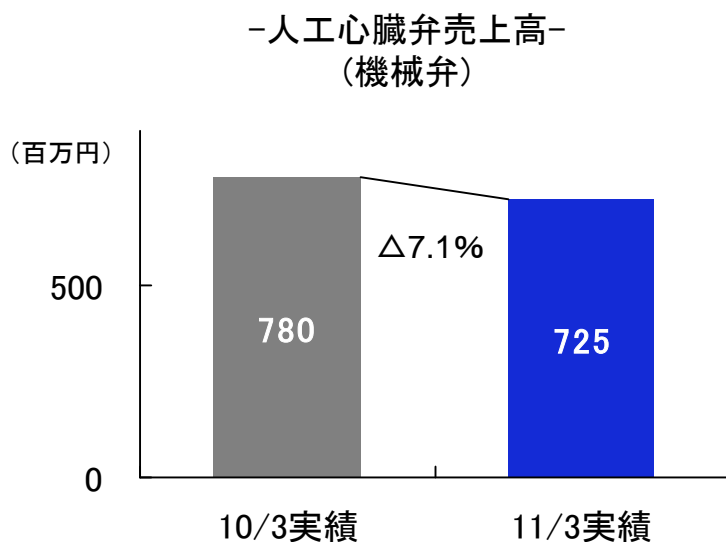
- '12/3期(予) 売上高 1,368百万円(前期比11.6%)
- '09年に仕入販売からグループでの製造販売へと切替
着実に業績を伸ばす



人工心臓弁

市場動向を受け機械弁は減少

- '11/3期 売上高 725百万円(前期比7.1%減)
- 市場動向は当社の扱う機械弁から生体弁へと移行

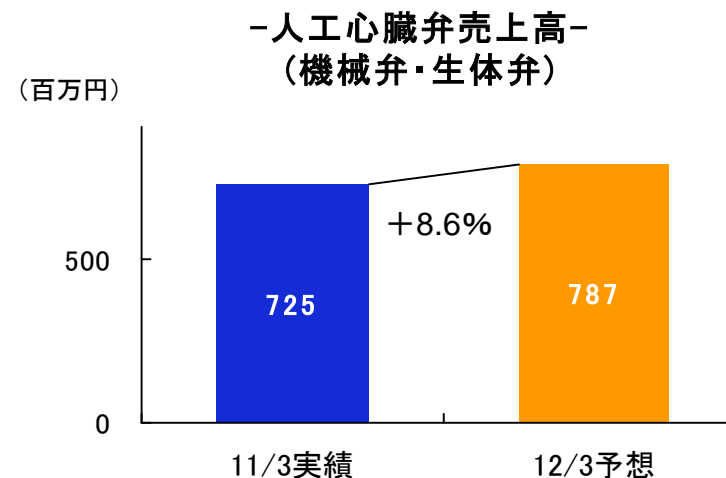


市場予測出典:2010年版メディカルバイオニクス(人工臓器)市場の中期予測と参入企業の徹底分析 ~株)矢野経済研究所 ※数値は暦年

成長分野への参入

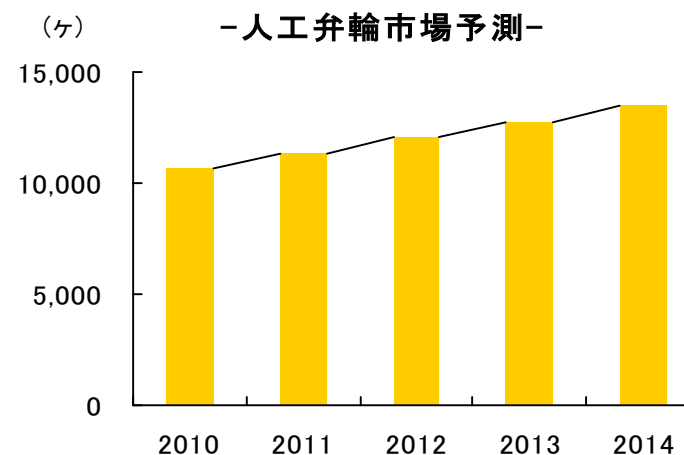
生体弁を発売

- 「Mitroflow」
- '12/3期 4Q発売予定
- 早期の市場浸透を目指す
- '12/3期(予) 人工弁全体
売上高 787百万円



人工弁輪を発売

- 「Memo3D」
- '13/3期 1Q発売予定
- 市場は5%を超える成長が
続く見通し



市場予測出典:2010年版メディカルバイオニクス(人工臓器)市場の中期予測と参入企業の徹底分析 ~株)矢野経済研究所 ※数値は暦年

商品ラインナップ拡大

弁膜症治療商品を幅広くカバー



機械弁「Bicarbon 3G」
保険償還価格 868,000円



生体弁「Mitroflow」
保険償還価格 925,000円



人工弁輪「MEMO 3D」
保険償還価格 281,000円



弁膜症治療領域におけるプレゼンス強化

バルーンカテーテルは新商品が好調

'11/3期は前期比30%を越える

- 売上高1,173百万円(前期比30.4%増)
- 数量ベースでは約60%増
- 「LIFESPEAR(ライフスピーア)」が高い評価を獲得

'12/3期もさらに増加を見込む

- 売上高1,457百万円(前期比24.3%増)
- 一層のシェア拡大を目指す

LIFESPEAR
RX PTCA Balloon Catheter



ガイドワイヤー

公定価引き下げにより売上高は横ばい

- '11/3期 売上高484百万円(前期比0.3%減)
- 数量ベースでは8.8%の増加

'12/3期は販売数増が増収に直結

- '12/3期(予) 売上高545百万円(前期比12.6%増)
- 市場性の高いSFA(表層大腿動脈)領域への早期参入を目指す

海外への製造移転を進め原価低減を図る

- 中国製造子会社におけるガイドワイヤーの生産体制構築

アンプラッツァー（構造的心疾患治療器具）

動脈管開存閉鎖器具が普及

- '11/3期 売上高684百万円（前期比19.9%増）
- 同製品を用いた治療法の国内導入が進む
- 心房中隔欠損閉鎖器具も順調に増加

AGA社製品の販売は終了

- '12/3期（予）売上高508百万円（前期比25.7%減）
- 本年12月をもって販売終了
- 円滑な事業承継を進める

オクルテック社との独占販売契約

構造的心疾患領域への再参入

- パイオニアとしての実績と経験を生かし
心房中隔欠損閉鎖器具の4年後の国内導入、
シェア獲得を目指す

独占販売契約の概要

(1)契約先

オクルテック・ホールディング社 (Occlutech Holding AG/スイス)

(2)契約締結日

平成23年5月2日

(3)契約期間

対象製品の保険償還価格決定の日から10年間(以降2年毎の自動更新)

(4)対象製品

経皮的心房中隔欠損閉鎖器具等の構造的心疾患の経皮的な治療器具

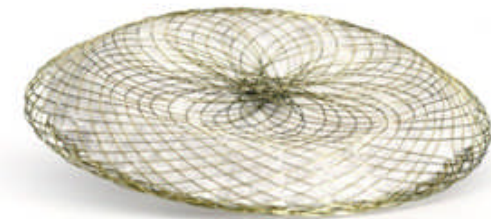
オクルテック社について

構造的心疾患領域における優れた技術

- 親会社 オクルテック・ホールディング社(スイス)
- 構造的心疾患の閉鎖器具を中心に製品開発・製造・販売
(欧州を中心に事業展開)
- グループ連結売上高 840万ユーロ(2010年12月期)

※経皮的心房中隔欠損閉鎖器具とは

心臓の右心房と左心房を隔てる壁である心房中隔に、先天的に欠損孔という穴が開いている心房中隔欠損症という疾患を治療するための医療機器です。閉鎖栓という円盤状の器具で欠損孔をふさぐことにより、疾患を治療します。細い管(カテーテル)を用いて閉鎖栓を足の血管から心臓まで運ぶことができ、開胸手術を行わずに治療が可能のため、患者様にとって負担の小さい治療方法が可能となります。国内では2005年に当社が初めて販売を開始しました。



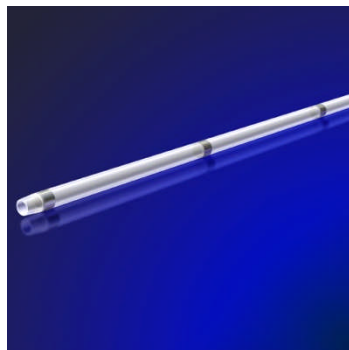
さらなるラインナップ充実を図る

マイクロカテーテル2商品を市場導入

- 「Minnie」 2012年3月期 2Q発売予定
ガイドワイヤー等のデバイス留置を容易化
- 「Twin-Pass」 同 3Q発売予定
2本のガイドワイヤーを使用した手技等を可能とする
ユニークな形状
- (米)バスキュラーソリューションズ社製

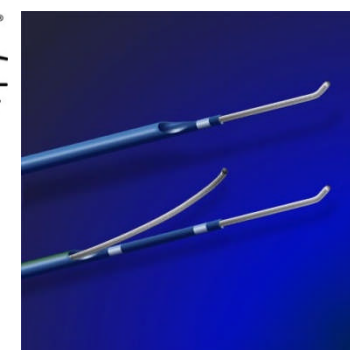
Minnie® Support Catheter

貫通用カテーテル
「Minnie(ミニー)」
保険償還価格
51,200円(予定)



Twin-Pass® Dual Access Catheter

貫通用カテーテル
「Twin-Pass(ツインパス)」
保険償還価格
51,200円(予定)



中長期の成長に向けて



事業環境

市場は拡大傾向

- 心疾患は増加傾向
- 新規性の高い機器の導入が新たな市場を創出

保険償還価格の継続的引き下げ

- 売上高、粗利率に影響

M & Aの活発化

- 取引先買収による販売権喪失リスク
- 独自技術を持った企業の争奪戦

安定成長への事業形態

商社機能	メーカー機能
<p>有望商品の早期開拓 →成長市場へいち早く参入</p> <p>薬事機能強化 →新商品の早期上市</p>	<p>研究開発基盤の強化 →独自製品の開発</p> <p>グループ生産体制の確立 →原価低減</p>



安定成長へ

各事業における取り組み

リズムデバイス 「中核事業の安定成長」

- ハイパワーデバイス(ICD、CRT-D)の拡販
- 新商品の早期上市

EP/アブレーション 「自社製品の拡充・開発強化」

- 中国市場への販路拡大
- 独自製品の開発・早期上市

外科関連 「グループ製人工血管の拡販」

- 人工血管の増産・拡販
- 心臓弁膜症関連商品の拡販体制を整備

インターベンション 「成長市場への早期参入」

- 自社製品ラインナップの拡充
- 成長分野の開拓(ステントグラフト、構造的心疾患治療器具)

2016年3月期 経営目標

連結売上高

340億円

連結営業利益率

10%以上



... for patient comfort.

End of Presentation

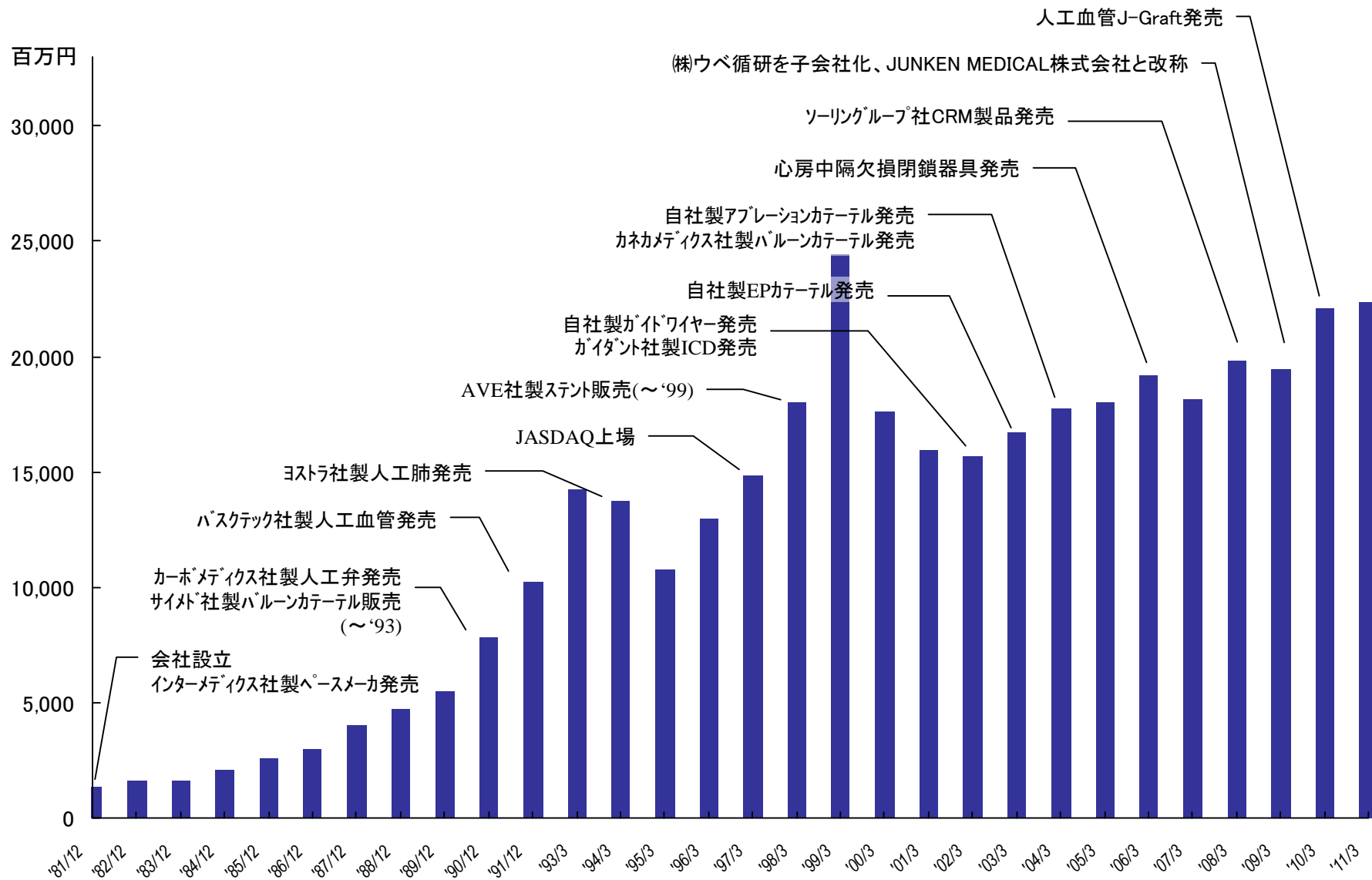
会社概要



会社概要

商号	日本ライフライン株式会社
代表者	代表取締役社長 鈴木 啓介
本社	東京都品川区東品川2-2-20天王洲郵船ビル
設立	1981年2月6日
上場	1997年12月8日(JASDAQ)
証券コード	7575
事業内容	医療機器の輸入、製造および販売
資本金	2,115百万円
従業員数	連結 546名/単体 479名(2011年3月末現在)
事業所	営業拠点(30ヶ所)、ディストリビューションセンター、リサーチセンター、浮間ファクトリー、天王洲ACCADEMIA(研修センター)

当社歴史と売上高の推移



当社は創業以来、不整脈や心筋梗塞等の心疾患を治療するための医療器具を扱っており、事業領域はリズムデバイス、EP/アブレーション、外科関連、インターベンション、その他の5つに大別されます。

EP/アブレーション

不整脈の検査や治療を行うための、ディスポーザブル式の電極のついたカテーテル(細い管)を扱います。

リズムデバイス

心臓ペースメーカー
ICD
CRT-D
ホルター心電計

リズムマネジメント

不整脈(心臓の拍動が正常よりも遅くなるまたは早くなる状態)を治療する、主に体内植込み型の器具を扱います。

EP/アブレーション

EPカテーテル
アブレーションカテーテル

心臓循環器

外科関連

人工血管
人工心臓弁
人工肺関連

その他

血液浄化関連商品(子会社販売商品)

インターベンション

カテーテル(細い管)を皮膚を通して血管に挿入し、心筋梗塞等の治療を行う器具を扱います。外科手術に比べ、患者さんへの負担が小さい治療法です。

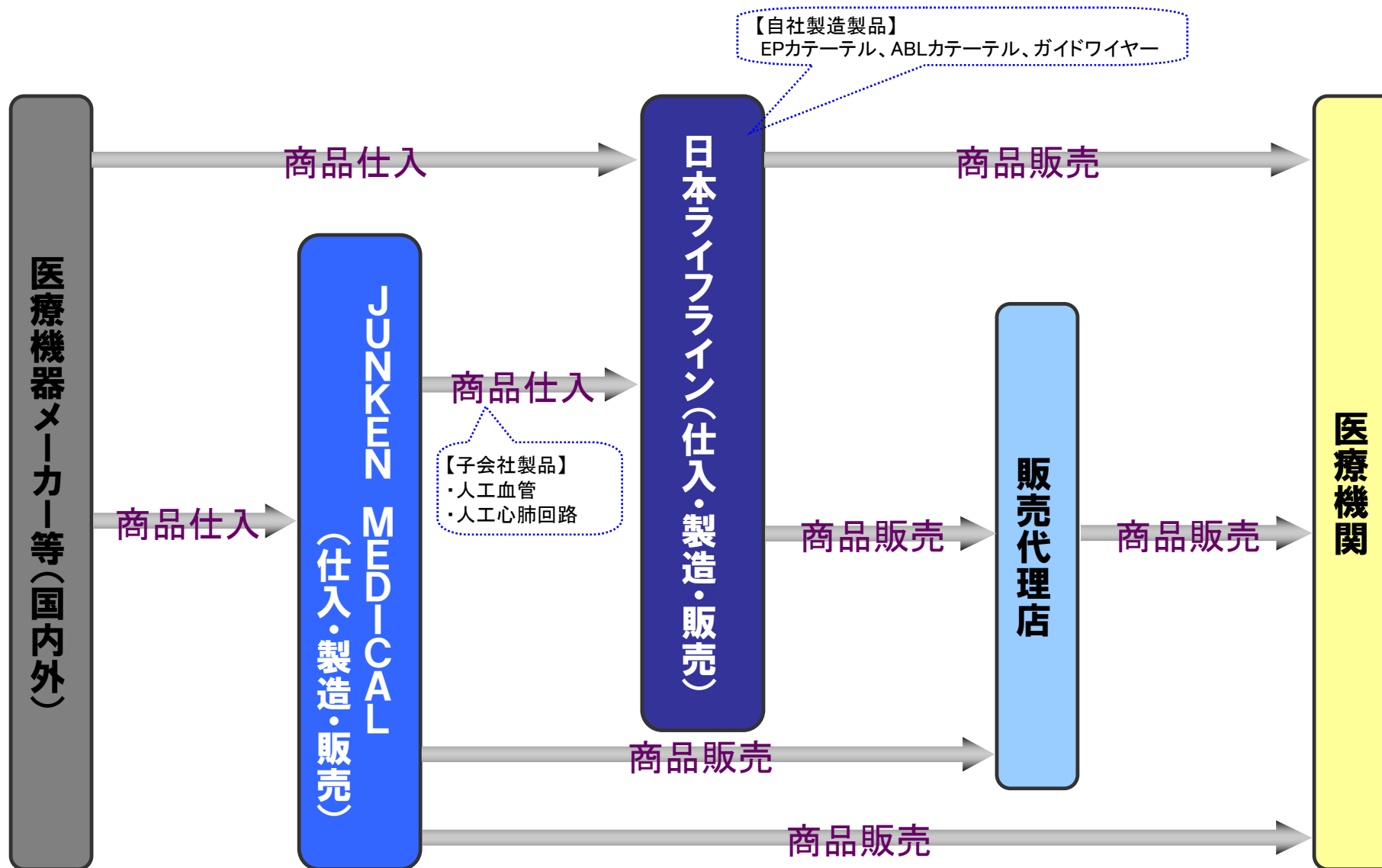
インターベンション

ガイドワイヤー
バルーンカテーテル
心房中隔欠損閉鎖器具
血栓異物除去カテーテル

外科関連

本来の機能が失われてしまった血管や、心臓の弁を、外科手術により人工の器官に置き換え、治療するための器具を扱います。

事業の系統図



心臓ペースメーカー

(SORIN GROUP社製)



心臓の拍動が正常よりも遅くなる不整脈(徐脈)に対して、人工的に電気刺激を与えることで拍動を保ちます。

心臓の拍動が異常に早まる不整脈(頻脈)のうち、致死性の不整脈である心室細動の発生を検知し、電気ショックを与えることで、拍動を正常な状態に戻します。

ICD(植込み型除細動器)

(SORIN GROUP社製)



CRT-D(除細動機能付き両心室ペースメーカー)

(SORIN GROUP社製)



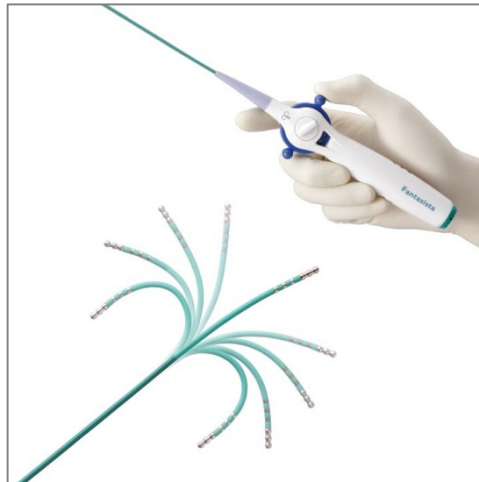
重症心不全に対して、心臓の左右両方の心室に電気刺激を与えることで、心臓の同期不全を整えポンプ機能を改善します。またICDと同様に除細動の機能も合わせ持っています。

長時間の心電図を記録することで、短時間で出現しない異常や日常生活での心臓の状態を記録します。

ホルター心電計

(SORIN GROUP社製)

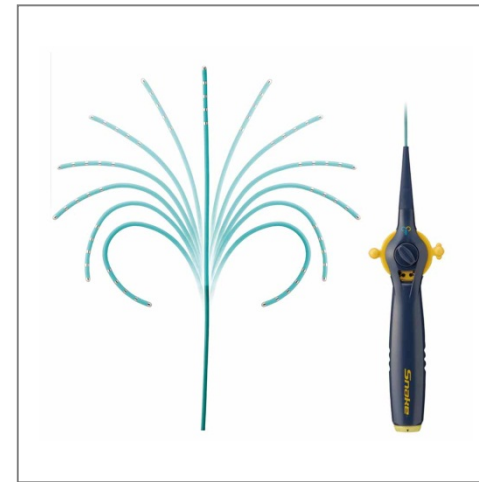




アブレーションカテーテル

(自社製造製品)

頻脈の原因となる心臓内の異常な電気刺激の経路を、カテーテル先端部の電極から流す高周波電流により焼き切り治療します。



EP(電気生理用)カテーテル

(自社製造製品)

不整脈の診断や治療方法の適応を判断するための検査に用いられます。カテーテル先端に電極がついており、心臓内の電位を測定したり、不整脈を誘発させることで原因を特定します。



人工心臓弁

(Carbomedics社製)

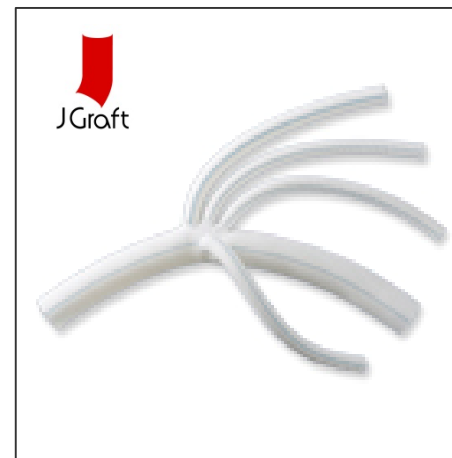


心臓内の血液の逆流を防ぎ、正しい流れを保つために機能している心臓弁が、十分に開かなくなったり、完全に閉じなくなった場合に、人工心臓弁に置き換え、本来の機能を回復させます。

動脈瘤(動脈の壁に瘤ができ、場合によっては破裂、出血する)などで痛んだ血管を切り取って人工血管に置き換えたり、バイパスとして使用します。

人工血管

(JUNKEN MEDICAL社製)



人工弁付血管

(Carbomedics社製)



人工心臓弁と人工血管が一体となっており、大動脈弁と弁につながる動脈を同時に交換する場合に用いられます。

心臓の外科手術を行う場合、一時的に心臓を停止させ、人工心肺装置により血液を循環させますが、その際血液中の二酸化炭素を除去し、酸素を供給する肺の働きをします。

人工肺

(SORIN GROUP社製)



バルーンカテーテル

(カネカメディックス社製)

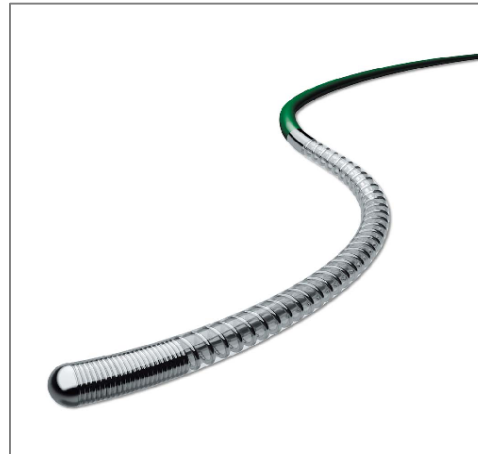


心臓の筋肉に酸素や栄養を送る血管(冠動脈)が詰まることが原因となる心筋梗塞や狭心症の治療に用いられます。血管の詰まった部分で風船(バルーン)を拡張させ、再度血流を確保します。

バルーンカテーテルを血管の詰まった部分に導くために用いられます。ガイドワイヤーを血管の詰まった部分の先まで通過させ、これに沿ってバルーンカテーテルを進めます。

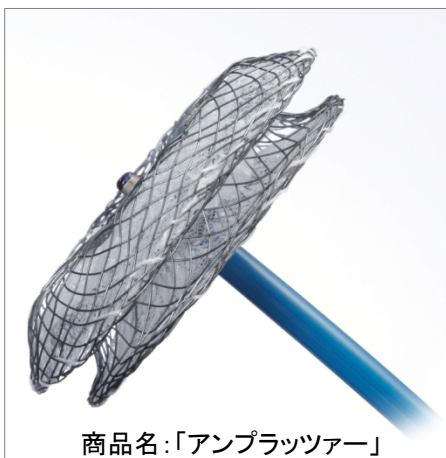
ガイドワイヤー

(自社製造製品)



心房中隔欠損閉鎖器具

(AGA Medical社製)



先天的に心臓の左右の心房を隔てる壁に穴が開いている疾患(心房中隔欠損症)を、従来の外科手術ではなくカテーテルを用いて治療します。

血管内の浮遊血栓等の血管内異物を捕捉または除去するカテーテルです。バスケットがフィルター型のため血流を確保することができます。

血栓異物除去用カテーテル

(ニプロ社製)



ご注意事項

本資料の記載内容のうち、歴史的事実でない事項は、日本ライフラインの将来に関する見通し及び計画に基づいた将来予測です。特に、商品や製品に関し、治験に関する事項、薬事法の承認に係る事項、および発売時期につきましては、過去の経験や入手可能な情報から得られた当社の予測であります。実際の業績は、さまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本資料記載の見通しと異なる可能性がありますので、これらの見通しに過度に依存されないようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ先

日本ライフライン株式会社
経営管理部 山田

TEL: 03-6711-5214

E-Mail: ir@jll.co.jp

URL: <http://www.jll.co.jp>